



662-0833 西宮市北昭和町3-20 TEL&amp;FAX 0798-65-4303 携帯 080-3138-4164

Eメール [soshisha@f6.dion.ne.jp](mailto:soshisha@f6.dion.ne.jp) ホームページ <http://amenity2000.la.cocacn.jp/>**お知らせ**

- #ヴォーリズ六甲山荘一般公開最終日 11月20日(日)
- #六甲山荘作業 11月21日(月)～23日(水・祝)
- #六甲山荘大掃除 11月23日(水・祝)
- #下期セミナー 清風荘訪問 12月6日(火)
- #新年会(関西) 1月9日(月・祝)
- #新年会(関東) 1月14日(土)
- #アンサンブル・アメニティ結成10周年記念コンサート 1月29日(日) カトリック芦屋教会
- #タイ交流旅行 2月6日(月)～12日(日)

**みんなで成功させましょう！ アンサンブル・アメニティ結成10周年記念コンサート**

いつも美しいハーモニーを聴かせてくれるアンサンブル・アメニティが結成されて10年になります。その記念コンサートを次のようにひらきます。今回も企画・実行委員には畑先生の合唱教室のメンバーがあたり、チームワークの良さを発揮しています。

**月日 2017年1月29日(日) 午後2時****会場** カトリック芦屋教会**出演** アンサンブル・アメニティ(畑儀文・テノール、高本一郎・リュート、赤松由夏・ヴァイオリン、春木浩子・ハーブ)  
ゲスト：井本蝶山(尺八)、勝井粧子(箏)**参加費** 前売2,000円 当日2,500円

定員200名のカトリック芦屋教会を満員にできるよう、お知り合いを大勢お誘いください。チラシをこの封筒に同封しています。どうぞご活用のおかげたくさんのお客さまをお連れ下さい。

&lt;2016年度下期セミナー「足跡を探访する」&gt;

**清風荘訪問**

下期のセミナー第2回は京都の清風荘を訪問します。明治の元勳西園寺公望の別邸で、現在は京都大学の所有です。建物は近代和風住宅の代表作といわれ、国重要文化財に指定されています。庭園は名手小川治平衛によるものです。今回は京都大学大学院教授の中嶋節子氏による解説、案内でゆっくり見学します。



京都大学ホームページより

**月日 2016年12月6日(火)****訪問先** 清風荘(京都市左京区吉田本町京都大学内)**集合** 12時50分 清風荘玄関前**参加費** 会員1500円 一般2500円 (前期セミナー全納者1000円)

いずれも簡単なお茶代こみ

**定員** 30名**オプション** 昼食 ラ・トゥールにて(京都大学時計台記念館内 フレンチ定食 1620円)昼食ご希望の方は**11時20分**に京大正門前集合**申込締切** 12月3日(ただし定員に達ししたい締め切ります)

お申込みの際には昼食の参加有無とメニューの選択もお知らせください

集合場所のアクセス等詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。

\*シンポジウムで講師を務めてくださった顚原澄子さん（千葉大学大学院准教授）が『原爆ドーム 物産陳列館から広島平和記念碑へ』を上梓され、朝日新聞読書欄の書評でもとりあげられました。執筆の動機やその研究内容についての文章を投稿いただきましたので、次の「コラム」に掲載します。

## 【コラム】

顚原 澄子

今年7月、吉川弘文館より『原爆ドーム 物産陳列館から広島平和記念碑へ』を上梓しました。私は関東育ちで、広島にはまったく縁はありません。研究をするきっかけとなったのは、イギリス留学中にヨークシャーのファウンテンズ修道院を訪れたことです。ナショナル・トラストが管理している中世シトー派修道院の廃墟は、18世紀に作られたウォーター・ガーデンの中で、重要な点景の一つになっています。三日月型の池のほとりを歩いてくると、突如、視界の先に現れるこの廃墟の美しさには息を呑みました。そして、なぜかこの時、私は広島の前爆ドームのことを思い出し、廃墟という建築としては機能を失ったものが、いまだに力を持ち続けていることに驚嘆しました。建築には、過去の事物を想起させる力があり、私は、そうした力を持つからこそ、建築は保存する意味があるのだということを、明らかになりたいと考えました。

しかし、実際に原爆ドームの研究を始めてみると、なんとといっても、これ以上重い過去を背負った建築はほかにはないため、筆は遅々としてすすまず、論文を1本書くに留まっています。吉川弘文館の方に声をかけてもらわなければ、調べて来たことをまとめることはなかったと思います。建築史家として自分は実に未熟ですが、そうであればこそ、事実の掘り起こしとそれらの事実の前後関係を正確にすることが、研究の出発点であると考えています。その作業をしている中で、大半は、自分の知識不足によるものですが、いろいろと、意外に感じるがありました。

原爆ドームという一つの「建築」が残ったことにより、無知な私が教えてもらったことは、数限りないと言えます。世の中の常識・理解というのが、案外変わりやすく、自分たちは自分たちの時代の価値観で過去を見返しがちだということも実感しました。

本書では、事実の根拠となった資料については、丁寧に記述したつもりです。それらの資料によって示された、原爆ドーム保存の長い道のり、その紆余曲折の過程を追体験し、一つでも意外に思うことを発見していただければ、幸いです。

<吉川弘文館刊 歴史文化ライブラリー 1700円>



### ご報告 上期セミナー 9月10日（土） 草志舎

神戸女子大学名誉教授の植木照代さんが「武士の娘・杉本鉞子の戦前と戦後—六甲山荘時代をはさんで」という題で、杉本鉞子の生き方について語られました。杉本鉞子は六甲山荘の建築主の小寺敬一氏の夫人花野さんの実母で、終戦間際には山荘に疎開して暮らしていました。その時期のエピソードなども話され、私たちにはいっそう身近に感じられました。



### ご報告 畑儀文の合唱教室 9月12日（月）10月17日（月） 草志舎

童謡「里の秋」を歌うと、いかにも秋到来という感じがします。日本には季節ごとにいい歌がたくさんあることを教えてくれる合唱教室です。

### ご報告 親子草木染教室 10月8日（土） ヴォーリス六甲山荘

今年は皆様のご協力でごぼうの皮と玉ねぎの皮をたくさん集めて染め液をつくりました。おかげさまでとてもきれいな染めがしあがりしました。自然の色の美しさに感激です。参加者も国際色ゆたかで、楽しい一日でした。



**ご報告** 下期セミナー **建物の保存を考える in Tokyo** 10月15日(土) 静岡  
静岡英和女学院の旧宣教師館は会員の榎戸さんご夫妻が管理しながら住い  
て、活用しておられます。ご夫妻がこの建物と巡り合った話、修繕や維持管理のご苦  
労話などを伺ったあと、館内を見学しました。持主の愛着、管理者の熱意がうま  
くかみあって、しっかり守られていることを実感しました。後で見学した旧マッ  
ケンジー邸も、どちらも住み心地のよさそうな、気持ちのいい建物でした。



**ご報告** ほりだし市 11月3日(木・祝) 草志舎

晴天にめぐまれて、お客様の出足も好調、にぎやかで楽しい一日でした。今年  
は熊本の震災被災者の支援になればと熊本の物産コーナーをつくりました。また  
昼食にも熊本の食材を使い、名物の「だご汁」も作りました。「豆腐のもろみ漬  
け」はチーズのような味でとてもおいしかったです。手作り品や寄贈品を寄  
せてくださった皆さま、準備や当日のスタッフに活躍してくださった皆さま、  
ありがとうございました。お疲れさまでした。

お昼ごはん：スティックおにぎり、花豆、豆腐もろみ漬、あかど漬、高菜漬  
と白菜の和え物、だご汁



### ヴォーリズ六甲山荘 大掃除&暖炉とワインを楽しむ会

六甲山荘の今年の一般公開は11月20日(日)でおわります。そのあと大掃除を  
して山荘の冬ごもりの準備をし、みんなで暖炉とワインを楽しむ「ご苦  
労さん会」をいたします。なおこの日は若いボランティアが参加される  
予定です。若い力で作業がはかどるとうれいすね。皆さん、ど  
んどんご参加ください。

日時 11月23日(水・祝) 午前10時から  
(阪急バスご利用の方は阪急六甲9時15分発が便利です)  
持ち物 汚れてもいい服装、軍手など

昼食の準備の都合がありますので、ご参加の方は21日までにご連絡ください。



昨年の食事風景

### 新年会のご案内

2017年の新年会を関西と関東で次のように開きます。  
にぎやかにおしゃべりしながら新年の抱負をかたりあいま  
せんか。ご参加お待ちしております。

\*関西 1月9日(月・祝) 12時～  
場所：草志舎  
参加費：1500円

\*関東 1月14日(土) 12時半～  
場所：六義園  
参加費：1000円(昼食持参)

### 六甲山荘の敷石を直しましょう

秋の六甲山荘の作業は敷石貼りです。玄関前とベ  
ランダの敷石があちこちはがれていて、補修にかか  
っています。玄関前は終了しましたが、ベランダは剥  
がれがとぎとぎとみつかって、予想以上の大作業に  
なりました。増田瑞生さんの指導のもと、以下の作  
業日に一気に仕上げたいと思います。

11月21日(月) 22日(火) 23日(水・祝)

力仕事ではありません。どなたでもできます。と  
くにジグソーパズルの得意な方、歓迎です！  
ご参加の方はご連絡ください。

## ◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

### 静岡のヴォーリス建築を訪ねて

勝田順子

「静岡市とヴォーリス？」最初何か違和感を覚えたのですが、ヴォーリスの建築リストには、静岡県内のものが20棟以上存在しているそうです。現存の確認が取れているもので静岡市にあるのは、旧マッケンジー邸と、旧エンバーソン邸、旧英和女学院宣教師館です。

今回我々は、ミス・カニンハム（旧宣教師館）と旧マッケンジー邸を訪れました。そこには、ヴォーリスの特徴である癒される空間、生活に必要な様々な工夫に満ちた設計が随所に見られました。

ミス・カニンハムでは、昼食（シェフ特製洋食弁当）をいただいた後、現在、同館に暮らしながら保存に取り組んでおられる榎戸様から、これまでのいきさつや、これからの夢、覚悟などを伺った後、庭、外周、リビング、ダイニング、2階の特別室、地下などを見学しました。

次のマッケンジー邸に行く為に静岡駅からバスに乗るのですが、旧宣教師館から静岡に戻るまで、周辺の建物（県庁舎、市長舎等）を市のガイドさんの説明を聞きながら、素晴らしい青空の下、のんびりと（実は、1時間に一本しかない予定のバス時間に間に合うかはらはらしながら）歩きました。

マッケンジー邸は、日本茶の輸出に貢献し各種社会事業にも尽くしたマッケンジー夫妻の旧宅。体が弱かったマッケンジー氏は海のそばに居を構え、寝室からは素晴らしい海の景色を一望する事が出来、庭の東屋からは富士山を望むことが出来ました。雲一つないお天気と、素晴らしい仲間と、素晴らしい一日となりました。



旧マッケンジー邸

### 色あざやかなヴォーリス六甲山荘の一日

ハナ・イスタム

私は文化遺産、とくに古い写真の調査をしているので、「過去の世界」は白と黒のイメージで浮かんでくることが多い。ところが六甲山荘で昔ながらの染色の経験をして、過去の世界も実は色彩豊かだったのだと実感した。

当日の持ち物は簡単：ゴム手袋、エプロン、汚れてもいい服装。泥んこになって何かを学ぶのかしら？楽しそう！

友人のメキシコ人留学生ロドリゴを誘って、わくわくしながらかけた。六甲山荘の庭には日があたり、コスモスが咲き始めていた。「草木染」とは文字通り「植物で染める」という意味で、今日はアメニティ 2000 協会のメンバーが

それを教えてくれるのだ。

テーブルに用意されていたのはボウルにはいった玉ねぎとブドウ。これをどうするの？でもこれでとっても簡単だけど効果的で楽しい染めができるということが、やがて分かった。



まず玉ねぎの皮と丸ごとのブドウを大きなナベでぐつぐつ煮る。そのあいだに木綿のハンカチを豆乳に浸す。こうすると繊維が染まりやすくなると教えてもらった。ハンカチを絞ってから「創造力」を発揮する場面だ。おはじきやビー玉、割りばしなどに布を巻きつけて、輪ゴムでしっかりとめる。この部分が一番むずかしくておもしろかった。出来上がりの模様がどうなるのか予測するのはむずかしい。でも昔ながらの手法をうまく使おうという「職人魂」が刺激される。さて、こぶこぶのおかしな人形のようなになったハンカチはミルク色の媒染液につける。さきほどのナベ(玉ねぎの皮もブドウも取り去り、いい香りがしている)に10分ほどつける。この手順を繰り返し、最後に輪ゴムをはずして、できあがり！枝にわたしたヒモに干しながら、自分だけの模様染まったハンカチに私たちは大満足だった。

そのあとプログラムの締めくくりはおいしいランチ。石窯で焼いた手作りピザの焼きたてをごちそうになった。

この経験で私は自然の産物からどんなものができるのかと改めて考えるようになった。ふだん台所でゴミ入れに捨ててしまう玉ねぎの皮からきれいなオレンジの色がでてくるなんて、本当に驚きだった。現代では服や布のほとんどは工場では化学染料で染められている。わたしたちが関わるのは店で買うときしかない。私たちは布のもつ「物語」から遠ざかってしまっている。けれどそうしたどこにでもありそうな布にも「物語」や意味を見出すことができると私は考えるようになった。

私の染めたハンカチは我が家の食器棚に存在感たっぷりにおさまっている。それを見ると達成感を感じる。このハンカチを使ったり

洗ったりすると、自然染めの色は薄くなっていくだろう。けれど染めの効果は化学染料よりしっかり繊維に結びついていると



教えられた。だから私は遠慮なく、けれどていねいに使っている。私にとって大切な染めで、長くもってほしいから。

記憶に残るすばらしい経験をさせてくれたアメニティ 2000 協会に感謝します。

## 三井住友信託銀行でのパネル展

昨年から三井住友信託銀行とは、若手のボランティアが作業に参加してくれるなど、連携が強まっています。この秋も阪神間の5つの支店（神戸、芦屋、西宮北口、塚口、明石）のロビーでアムニティ2000協会を紹介するパネル展を開催してくれました。多くの人に協会の活動を知ってもらうチャンスを作ってくくださったことに感謝です。

展示の終わったパネルは六甲山荘までもってきたださってご寄付くださいました。さっそくほりだし市の会場で展示しました。これからも活用したいと思います。

また10月には三井住友信託銀行から私たちの活動への支援として寄付を協会にしてくださいました。企業からの寄付を受けるのは初めてのことです。



パネル展風景



パネルを持参下さった5ヶ店の支店長と本部の皆さんと清水理事長

## 六甲山荘便り

### 8月、9月の六甲山荘

8月はベンガラ塗りとシンポジウムで盛り上がりましたね。猛暑の日でも山荘はさわやか、夏別荘の居心地を満喫できました。宿泊も楽しんでいただけました。ただ9月の作業は予定日がすべて雨にたたられて出来なかったのが残念です。

来場者：195名

### 募金のご報告～8月9月

8月、9月に次の方々から募金をいただきました。  
ありがとうございました。(敬称略)

#### \*文化遺産継承基金

《8月9月合計 188,050円 2016年度累計752,820円》

### <展覧会のご案内>

#### 「建築と社会を結ぶ 一大高正人の方法」

場所：国立近現代建築資料館

期間：2017年2月5日まで 10時～16時半

(休館日・11月12日、12月29日～1月3日)

図面や模型を通じて建築家の仕事の広がりを感じられる展覧会です。会員の顛原澄子さんも建築資料の整理と展覧会準備に係わっておられます。

国立近現代建築資料館へのアクセス

地下鉄千代田線「湯島」駅1番出口

旧岩崎邸庭園から入る(入園料が必要)

または 湯島合同庁舎正門から入る



敷石補修作業中



補修完成